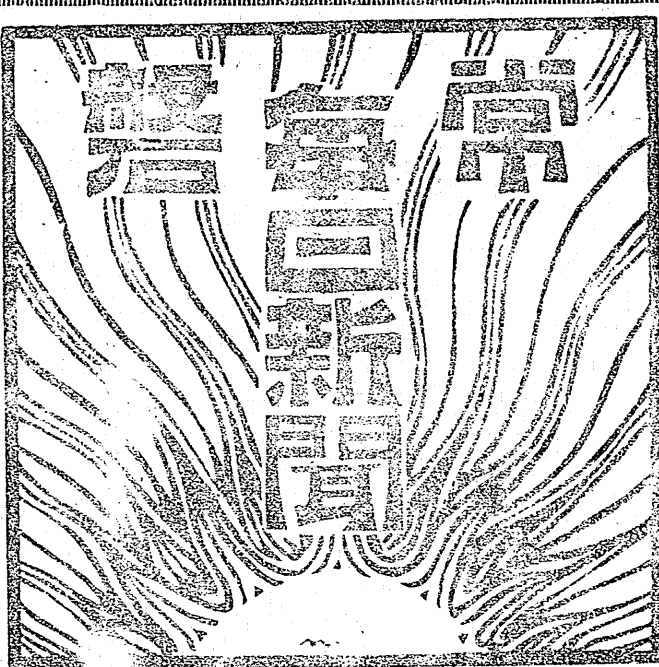


日刊 發行編輯人 川崎文治 本社同番地（電話六三〇番）印刷所 常盤毎日印刷所



刊夕日七十二月二

定部金貳錢 一ヶ月五錢 三ヶ月一圓二錢 半年二圓 一年三圓 廣告費 五字一圓 十字一圓二角 二十字一圓五角 三十字一圓八角 五十字一圓五角 一百字一圓八角 二百字一圓八角 三百字一圓八角 四百字一圓八角 五百字一圓八角 六百字一圓八角 七百字一圓八角 八百字一圓八角 九百字一圓八角 一千字一圓八角 印刷費 每日新聞社 電話六三〇番

吉田眼科醫院

新人の意気全篇 熱い力の大雄篇

プロケラム……
◇松竹下加茂作 監督 星哲子六
主演 阪東壽之助、千早晶子
大井戸の最後
権勢轟ひし徳川三百年榮華の夢果敢なく
て破れる立つ若くして熱血に燃ゆる彰義
隊の悲壯なる血涙史……
◇日活現代派超特作 監督阿部豊
主演 夏川静江、入江たか子、外幹部總出演
競艶女さよなら
闇を走り行く急行列車中に花嫁を探し求
めに都に行大川虎夫をめぐる競艶の渦づ
◇日活特作……監督 清瀬英次郎
主演 澤田清、常磐操子、櫻井京子
落花劍光録 第一篇
時は大徳の頃徳川十二代將軍の代妖婦あ
り美女あり怪盗あり剣士あり狂及解るも
のを断つて去る斬奸の主は……
廿九日より上映 料金 普通 平館

外科専門 花柳病

木村外科醫院

入院自炊の便あり
平町五丁目橋際
電話 三〇九番

乃良 瓶詰

平町四丁目平驛通り
永山酒造店小賣部
電話 二〇七番

寄書

符の皮 (七)

醫師 荒木治義
△落書——町とし
て置かう、其地に可成の牛
肉店がある、肉鍋つづく人
々が寄つて来るのだから各
階級の人が来ると見て宜い
其處の一室に落書があつた
一死なばSA生さばKT
生かさず殺さずKSさん
SAさんは學士だが頗る評
判が悪い。KSさんは患者
操縦が甚だ上手だ、KSさ
んは患者は誰れでも友達
の様にやつて居る。評判の良
いお醫者に見て貰ひ度い、

座敷女中 頼みたし

希望の方は至急面談
平町田間
御料理 石川亭
電話四三番

外務員募集

年令二十五歳以上
無経験ニテモ宜シ
希望者御來談アリタシ
平町長橋町三五
鈴木實

ホシゴム長靴 大賣出し

筒型劍型二重のキャンパス
入重要點は五枚張り、殊に
中底は獨特の技術に依り、
銅鐵の如く堅く、而も非常
に軽くクギも通らぬ新案品
であります
一度は来て見て下さい……
止價四圓五十錢ノモノ
特價ノモノ
四圓ノモノ 三圓五十錢
(但シ九文七分以上)
三圓ノモノ 二圓八十錢
二圓五十錢ノ物 二圓二十錢
二圓ノモノ 一圓八十錢
平町郵便局隣電話四二九番
ホシチエーン
ストア

上手だから評判が良いのだ
之れは素人として尤もな話
だ、が——醫師が薬を吞ま
せて悪くもならず、良くも
ならずと云ふ様に疾病の經
過を延して薬價を取るのだ
と思つて居るのだから世話
が無い。之れでは醫師の治
療も恰も細工宜しくだ紺
屋の明後日も今日では信用
を重んずる商店では爲ぬこ
とだ、醫師の仕事?!は生
體を扱ふのだ、そんなに旨
い工合に出來たら大變ぢや
ないか

會田時計店

平町細屋町(縣社通り)
平町四(電三六三)

肉盤其まゝの高級
ビクターレコード枚、50錢
日本物と音楽
蓄音器針は
ビクター針先 35錢
一度御試聴下さい

美味 評判
イロキ金
才部の電話四六〇番

セメント 壁用材料

コールター
ペンキ塗料
板ガラス

磐城セメント株式會社
代理店 西村屋藥舗
平町二丁目(電三)

謝近火御見舞

東部電力株式會社
平營業所

多田井笑次郎
平魚市場
中川材木店
電話 五五六番

興徳院本日葬送の際は遠路の處態
々御會葬被下殊に御叮嚀なる御香
奠を賜り難有御厚禮申上候
實は拜趨御禮可申上の處取込中に
付乍略儀以紙上御厚禮申上候
昭和四年二月二十七日
男 加藤 丈夫

謝近火御見舞

東部電力株式會社
平營業所

多田井笑次郎
平魚市場
中川材木店
電話 五五六番

炭礦の需要停止で 移米が激減した

販路が縮小して

穀物検査所平支所における昨年十二月から今年二月二十五日までの間に於て小作米の等級検査を行つた俵数は約一萬六千俵、移出検査俵数は約二萬俵合計三萬六千俵に達したが前年同期に比較して小作米では大なる相違がなかつたが移出検査では約八千俵の大激減を示してゐる。これは東京各市場への移出減少もその原因の一であるが最も大なる原因は従來磐城炭礦が地方産

米を移入して居たのを昨年秋以來全然地方米を使用しなくなつた爲で同礦への販路がなくなつた事は石城郡としては相當の打撃である。右の等級移出再検査に於て最も成績の良好であつた處は大浦村で同村の産米品質改良は最近長足の進歩を示してゐると

柏木氏の出發 柏木いはらき支局長の助川榮轉は既記の如くであるが二日

柏木哲氏送別會

日時 三月一日午後五時
(出發ハ二日午前九時一分)

場所 平町谷口樓
會費 貳圓 (當日御持參ノ事)
申込場所 常警毎日新聞社
電話 六三〇番

奮つて御出席下さい

主 在平日刊記者有志
茨城縣人會有志
催 平町有志一同

苦難に挫かれぬ 會社數百四十九

夫々切掛け策を講じて 財界の復活を待つ

石城郡の商況並に經濟界の動靜を最も適確に數字的に窺知し得らるる郡内に本店を有する各會社の昭和三年度の業務の盛衰新設解散の情勢を見るに財界は依然不況の域を脱せず郡内中樞事業たる石炭礦業は

財界不振 に依り需給關係縮少休止の止むなき悲境にあり牛爾米穀共に價格低廉にして生産費を償ふに足らざるものあり財界益々不況深刻に至れるため個人の借入金等の返済も意の如くならず一面又此混亂せる財界に善處すべく且從來

營業方針 に鑑がみ資本合同の緊要事なるを自覺し而して收支を明瞭にして苦境切掛け策を講じたる結果本年一月一日現在において休業會社を除き會社數百四十九總資本金額二千八百七十七萬二千一圓拂込資本金額八十七萬四千八百八十六圓前年より會社數二十八資本金五十八萬六千二百二十五圓拂込金二十六萬七千三百四十二圓の

増加を示 し事業界の前途に光明を感じつゝあるもこれ等の業務事蹟を通觀するに銳意向上に努力の跡は窺はるゝも地方銀行の休業に際會し金融は圓滑な

らすために資金の活用も充分發揮せず事業中止のやむなきに至れるもの相當俵出に營業事實なきもの會社數實に三十五資本金二百三十九萬一千五百四十五圓

拂込資本 金百四十四萬七千二百四十五圓積立金五十七萬四千四百五十五圓前年に比し資本金百三十二萬八千三百四十五圓拂込金百七萬一千二百九十五圓積立金五十七萬四千四百五十五圓の増加を見又休業以前の會社において財界不振に禍ひされ損失に至れるものあるために從來の積立金を崩してこれが損失補填に

充當した る結果に依り各積立金總額百十九萬七千九百五十五圓總利益額四十一萬六千二百二十二圓配當金總額二十五萬二千四百二十二圓となり前年に比し積立金六十二萬六千七百七十四圓配當金總額十六萬四千九百五十三圓何れも減差を示し

事業界に 稀有の業務不振を招致した事は誠に遺憾とする處で右減差は主として銀行金融關係分多き結果にして他の商業界において前年に比し大差なき業務成績を収め得たる事績を以てするときは郡内事業家が如何に不況と戦闘を

立ち退きをも 迫れた各種團體

平警察署の移轉で 團體側から建物提供を懇請

平警察署移轉と共に元郡役所内の各種團體事務所も移轉せねばならなくなつたが各種團體では協議の末二千五百圓を投じただけでは事務所も設立することもできずそれ以上の支出することには現在極めて困難なる状態であるため此際縣當局が各種團體専用の建物を建設して之を貸與して貰ひたいと陳情書を作り二十六日委員が出張々當局に陳情をなしたが立ち退きを迫られて居る各種團體はゆき場所に困りはて居る

平保線區の建物全焼す
昨夜十一時廿分頃平町大工

足袋と衣類 逃げた怪漢

石城郡上小川村大字上小川字江田居住同郡神谷村大字中神谷生れ石工前科二犯佐藤末松(○)は昨夜舉動不審として猪狩刑事に誰何され署に同行の途中署の門前に差し掛かると突然逃げ出した爲め紺屋町道路に追掛け取押へ目下取調中であるが足袋や衣類を大風呂敷に包んで所持し居り萬引をしつたらしいと

肋骨を折り 頸死の重傷

捲上機に挟る

石城郡内郷村大字宮金坂居住安達郡旭村生れ磐城炭礦調度課雜夫三浦多三郎(○)は廿四日午前十一時四十分頃同炭礦撰炭場に於て捲き上げ機に挟まれ肋骨を折り頸死の重傷を負ふたと

石城酒造組合 清酒喇酒會
平稅務署で
石城郡酒造組合主催清酒喇酒會は三月廿三、四兩日平稅務署樓上に開催する筈で審査長は岡部署長で二十五日褒賞授與式を舉行する

婦人農事講習
各村を巡回
石城郡農會主催婦人農事講習會は左記日割で開催するが講師は郡農會各係員及び平町藤田女學校教諭の諸氏である、三月一日より三日間草野村、七日より三日間高久村

來ましたらフライ鍋にライドを少々溶かし箸をいために二つに切り更に二分位の厚さに斜に小口切りとし椎茸五個は水につけて柔らかくし軸を切り四つ位にそぎ切りとなし青豆は罐より出して洗つておきます、鶏肉は長さ一寸幅三分位に切つておくのです、以上用意が出



家庭庭欄

暖かい御料理

◇材料 蠣一合位、鶏肉二十枚、椎茸五個、筍一本、青豆大匙二杯、スーパ四合、鹽、醬油、胡椒少々

製法—先づ蠣は水で洗ひ